

2019 年度
(平成 31年度)

山梨県春季テニス選手権大会兼国体予選大会

期日：2019年3月31日
4月7、14、18、21、29、30日
5月1、6、19日(予備日)

会場：小瀬スポーツ公園庭球場

連絡・お願い事項

- ①テニス協会のホームページのアドレ.《<http://www.jyta.jp/yta/>》
- ②2018年4月1日からルールが一部変更になっています。
内容の確認をしてください。
- ③スコアーについて
ドロウの若い番号が上になるように記録してください。
- ④平成31年度から、小瀬でのドロウ配布がなくなります。
必要な人は希望箇所を伝えてください。印刷します。

主催 / 山梨県テニス協会

主管 / 山梨県テニス協会

後援 / 山梨日日新聞社 山梨放送

協賛 / ダンロップスポーツマーケティング

大 会 役 員

名 誉 会 長	土 屋 金 蔵		
大 会 会 長	望 月 政 男		
大 会 副 会 長	小 野 嘉 一 郎	小 島 勝 一	小 林 繁
顧 問	太 田 道 夫	飯 室 訓 勇	
大 会 委 員 長	小 林 修		
大 会 副 委 員 長	小 林 秀 徳	富 岡 好 平	仲 沢 一 雄
	渡 辺 旭		
大 会 委 員	石 原 宏 昭	大 野 兼 義	小 中 恵 美
	神 河 庄 司	鎌 田 健 義	川 野 充 宏
	永 井 勇 太 郎	保 坂 積	水 上 浩 之
トーナメントディレクター	小 林 繁		
レフェリー	渡 辺 旭		
アシスタントレフェリー	水 上 浩 之		
競 技 委 員	飯 田 克 敏	飯 沼 保 裕	石 原 宏 昭
	大 野 兼 義	小 後 貫 恭 輔	鎌 田 健 義
	川 野 充 宏	小 島 佐 江 子	坂 井 亮 介
	鈴 木 裕 大	清 野 仁	田 中 翔 太
	戸 澤 克 也	土 橋 飛 鳥	長 澤 辰 徳
	保 坂 積	堀 内 喜 仁	水 上 浩 之
	宮 川 真 身	矢 崎 仁	山 下 博 美
	若 尾 貴 洋	若 尾 俊 宏	渡 辺 旭
	山梨大庭球部員		

(あいうえお順)

■注 意 事 項

- 1 選手はタイムテーブルの時間に、プレーできる服装になって本部に出席を届けて下さい。届け出のない場合は失格になります。(時間厳守)
- 2 試合方法一試合は、8ゲームマッチセミアドバンテージトーナメント方式(一部指定の方式)で行います。
- 3 試合球ーダンロップフォートイエローを使用します。
- 4 審判は、全てセルフジャッジで行って下さい。
- 5 試合前のウォームアップは、サービス6本以内とします。2度にわたる注意を受けたプレーヤーは、双方ともに失格になります。
- 6 ゲーム中フェンス越しからのコーチは、厳禁です。
- 7 当日2度以上試合のある選手で、次のラウンドのコールの時に不在の場合は、失格となります。食事等により長時間コートを離れる時は、必ず時間を確認して下さい。
- 8 雨天でも行う予定です。必ず諸会場へ来て下さい。電話等の問い合わせは、大会本部09030078769です。
- 9 次に勝ち進んでいる選手は、試合終了後日程の変更がないかを本部で必ず確認して下さい。
- 10 進行ボードをしっかりと確認し、待機コートの後ろでお待ち下さい。
- 11 試合が連続する場合は、前の試合の終了から次の試合の開始まで、最大15分の休憩が取れます。
- 12 ロービングアンパイアがいる時は、指示に従って下さい。

■知っておきたいルール

(JTA TENNIS RULE BOOK 2018から抜粋)

1. **セルフジャッジの方法 (チェアアンパイアがつかない試合方法) P60～**
プレーヤー・チームが判定とコールをすることをセルフジャッジと言い、以下のとおり行う。
 - (1) サーバーはサーブを打つ前、レシーバーに聞こえる声でスコアをアナウンスする。プレーヤー同士、アナウンスによってその時点のスコアを確認する。
 - (2) ネットより自分側のコートについて判定とコールをする。ボールがラインにタッチした時、ボールとラインの間に空間が見えなかった時、あるいはボールを見失って判定できなかった時は「グッド」である。ボールとラインの間に、はっきりと空間が見えた時は「アウト」または「フォールト」である。
 - (3) 判定とコールは、相手にはっきりとわかる声とハンドシグナルを使ってボールの着地後速やかに行う。代表的なハンドシグナルは、人差し指を出してアウト、フォールトを示し、手のひらを地面に向けてグッドを示す。
 - (4) (削除)
 - (5) ダブルスの判定とコールは、1人のプレーヤーが行えば成立する。しかし、ペアの判定が食い違った場合はそのペアの失点となる。ただし、ネット、ストラップまたはバンドに触れたサービスを、1人が「フォールト」、パートナーは「レット(グッド)」とコールした場合は「(サービスの)レット」となる。
 - (6)(省略)
 - (7) (削除)
 - (8) インプレー中、他のコートからボールが入って来るなどの妨害が起こった場合は、「レット」とコールしてプレーを停止し、そのポイントをやり直す。ただし、以下の場合は適用しない。
(以下はQ11より引用)
 - ①レットがコールされる前に打たれたボールが、コート内に正しく入らなかった場合は、そのボールを打ったプレーヤー・チームは失点する。
 - ②レットがコールされる前に打たれたボールが、明らかなウィニングショットまたはエースとなった場合は、そのボールを打ったプレーヤー・チームの得点となる。

- (9) インプレー中、プレーヤーがラケット以外の着衣・持ち物を相手コート以外の地面に落とした場合、それが1回目の時は、レットをコールしてプレーを停止し、そのポイントをやり直す。2回目以降、落とすたびにそのプレーヤーが失点する。レットのコールは、落とし物をしたプレーヤー・チームがコールすることはできない。ただし、落としたことがプレーに影響を及ぼしていない場合はポイントが成立する。
- (10) スコアがわからなくなった時は、双方のプレーヤーが合意できるスコアまでさかのぼり、それ以降のプレーで双方が合意できるポイントを足したスコアから再開する。合意できなかったポイントは取り消される。ゲームスコアがわからなくなった時も同様に処理する。再開する時のエンドとサーバーは、合意されたスコアに準ずる。ただし、ゲームスコアが訂正され、再開する場合のサーバーは、次の順のサーバーに交代しなければならない。(同じプレーヤーが2ゲーム連続サーバーにはなれない。)
- (11) 次の場合はレフェリーまたはロービングアンパイアに速やかに申し出る。
- ① 試合中、トイレ、着替え、ヒートルールなどコートを離れる時。
 - ② 相手プレーヤーの言動やコール、フットフォールト等に疑問、不服がある時。
 - ③ プレーヤー同士では解決できないようなトラブルが起こった時。
- (12) メディカルタイムアウトを取りたい時は、レフェリーまたはロービングアンパイアに申し出る。トレーナーのいない大会ではプレーヤー自身が手当てを必要とする状態かどうか確認後その許可を得て3分以内に処置を行う。
- (13) 試合終了後、勝者は大会本部に試合ボールを届け、スコアを報告する。
- (14) 各判定とコールをする権利者は以下の通りとする。
- a) 「フォールト」「アウト」「グッド」はネットから自分側のプレーヤー・チームのいずれか
 - b) 「ネット」「スルー」「タッチ」「ノットアップ」「ファウルショット」は両プレーヤー・チーム
 - c) 「フットフォールト」はコート内にいるレフェリー(アシスタントレフェリー)、ロービングアンパイアのいずれか。
- (15) オーバールール
「イン」「アウト」のオーバールールはコート内にいるレフェリー(アシスタントレフェリー)、ロービングアンパイアのいずれかが行える。
- (16) 妨害によるレットのコール
- a) コート外からの妨害による「レット」のコールは両プレーヤー・チームができる。
 - b) 対戦相手による無意識の妨害(落とし物1回を含む)は、妨害を受けたプレーヤー・チームのみ「レット」をコールできる。2回目以降は故意に妨害したとして失点する。
 - c) 対戦相手からの故意の妨害「ヒンダランス」は、妨害を受けたプレーヤー・チームからの申し出によりレフェリー(アシスタントレフェリー)、ロービングアンパイアが判断する。ただし、妨害を認知しながら意識的にプレーを続行した場合は妨害とは見なさない。
- (17) 誤ったコールを直ちに訂正した場合
インだったボールを誤って「アウト」とコール(ミスジャッジ)したが直ちに訂正(コレクション)した場合は、1回目は故意ではない妨害としてポイントレットにする。ただし、ミスジャッジの前に打たれたボールが明らかなウィニングショットまたはエースだった場合は、ミスジャッジをしたプレーヤー・チームの失点となる。2回目以降は故意に妨害したとして失点する。

2. ルールオブテニス (P7~一部引用)

規則27.間違いの訂正

ルールオブテニスにかかわる間違いが発見された時は、間違いに気づくまでに行われたポイントは、原則として全て有効とする。

- c) スタンダード・ゲーム中、サーバーの順番が間違っていたことに気づいた時は、気づき次第、本来のサーバーに代わる。しかし、気づいた時、すでにゲームが終了していた場合は、入れ替わったままの順番で続ける。間違いに気づいた時、相手がすでに打っていたフォールトは取り消す。ダブルスで、パートナー同士のサービスの順番が間違っていた場合は、間違いに気づく前に打たれていたフォールトは取り消さない。

規則29.連続的プレー

原則として、試合開始（試合の最初のサービスがインプレーになった時）から試合が終わるまでは、プレーは連続的に行われる。

- a) ポイントとポイントとの間は20秒以内とする。エンドの交代は、90秒以内とする。しかし、各セット第1ゲーム終了後とタイブレーク・ゲーム中はプレーが連続しており、エンドを交代する時でも休憩はできない。

3. 試合で起こるQ&A（P52～一部引用）

Q1) 試合中にストリングが切れた場合

- ・ストリングの切れたラケットで新しいポイントプレーすることはできない。ラリー中にストリングが切れた場合は、ポイントが終わるまでプレーを続ける。
- ・サービスを打った時、サーバーのラケットのストリングが切れた場合、そのサービスがフォールト場合は、引き続き第2サービスを打っても、あるいはラケットを交換してから第2サービスを打っても構わない。
- ・第1サービスのフォールトのボールを反射的に打ち返した時に、レシーバーのラケットのストリングが切れた場合、レシーバーはラケットを交換しても、しなくても構わない。

① レシーバーが第2サービスの前にラケットを交換した場合は、サーバーに第1サービスが与えられる。

② レシーバーがラケットを交換しない場合は、サーバーは第2サービスを打つ。

Q12) 第2サービスの前に、他コートからボールが転がって来た場合

第2サービスのモーションの前に、足元へ隣のコートからボールが転がって来た場合、妨害されたとは判断しない。ただし、サーバーが第2サービスのモーションに入った後に、ボールが入ってきた場合、プレーが妨害されたとして、第1サービスからポイントをやり直す。

4. その他

○セミアドバンテージ方式のやり方（国体ルール）

最初のジュースはスタンダード方式で行い（どちらかがアドバンテージ）、再度ジュースになった時にノーアド方式で行う（レシーバーが最終ポイントのサイドを選択し、次のポイントでそのゲームの勝者を決定する）。

○試合へ遅刻した選手の扱い

遅刻の内容	トス	ウォームアップ	試合開始のスコア
一方が10分を超える	勝敗	行う	ゲームスコア 0-1
双方が10分を超える	行う	行う	ゲームスコア 1-1
一方が15分を超える	ノーショウとなりプレーできない		
双方が15分を超える	2人ともノーショウとなりプレーできない		

注) JTA TENNIS RULE BOOK では2018年度より上記の記載がなくなりましたが、山梨県テニス協会ルールとして従来通り運用します。

■ 服装について

プレーヤーは、清潔でプレーにふさわしいと認められたものを着用しなければならない。試合中ウォームアップスーツ等を着用してもよい。

また、ウェア等の適正はレフェリーが最終判断し、必要に応じて交換・着替えを指示される。

① 着用できない服装

テニス用でないTシャツ、ランニングシャツ、ランニングパンツ、ジーンズその他不適切なウェア等はウォームアップ中でも着用はできない。

② テニスシューズ

プレーヤーは、コート面をいためたり汚したりするおそれのない、テニス専用シューズを履かなければならない。

種目、級のとらえ方

■ 一般シングルス

- A級…ポイントランキング男子上位64番まで、女子上位32番まで
- B級…上級者(自己申告)、A級以外のポイント保持者、C級でベスト4の者
- C級…中級者(自己申告)、D級でベスト4の者(参加数で変更あり)
- D級…初級者(自己申告)、E級でベスト4の者(参加数で変更あり)
- E級…初心者(自己申告)、大人～小学生まで

■ 一般ダブルス

- A級…ポイントランキング男子上位96番まで、女子上位48番まで、ミックスI級の者
- B級…上級者(自己申告)、A級以外のポイント保持者、C級でベスト4の者
- C級…中級者(自己申告)、D級でベスト4の者(参加数で変更あり)
- D級…初級者(自己申告)、E級でベスト4の者(参加数で変更あり)
- E級…初心者(自己申告)、大人～小学生まで

■ 35歳以上シングルス

- G級…A級シングルスポイント保持者 35歳ポイントランキング24番まで
- H級…G級以外の者

■ 35歳以上ダブルス

参加本数により級分けをする。

- 45歳以上シングルス ダブルス
- 55歳以上シングルス ダブルス
- 60歳以上シングルス ダブルス
- 65歳以上シングルス ダブルス

※45歳以上、55歳以上、60歳以上、65歳以上は参加本数に応じてリーグ戦方式とする。

■ ミックスダブルス

- I級…A級ダブルスポイント保持者 ミックスポイントランキング24番まで
- J級…I級以外の者

■ 参加数により級を合わせることがある。

■ 全日本予選と関東オープン予選はそれぞれの上位大会にあわせ級、年齢別を設定する。

春季大会 タイムテーブル

	3月31日	4月7日	4月14日	4月18日	4月21日
男子シングルス A 級		1 R → 8:30 2 R → 10:10 3 R → 11:50 (4 R)	(4 R) → 8:30 S F → 8:30 F → 11:50		
男子シングルス B 級		1 R 1~32 9:20 1 R 33~64 11:00 2 R 1~32 12:40 2 R 33~64 14:20 (3 R)	(3 R) → 8:30 4 R → 8:30 S F → 11:00 (F)		
男子シングルス C D 級		1 R → 8:30 2 R → 12:40 (3 R)	(3 R) → 8:30 S F → 8:30 F		
男子ダブルス A 級					1 R → 9:20 2 R → 11:00 3 R
男子ダブルス B 級					1 R → 8:30 2 R → 11:00 3 R → 12:40 (S F)
男子ダブルス C 級					1 R → 8:30 2 R → 10:10 S F → 11:50 (F)
女子シングルス A 級		1 R → 8:30 2 R → 11:50 (3 R)	(3 R) → 9:20 S F → 9:20 F		
女子シングルス B C 級		1 R → 8:30 2 R → 10:10 (3 R)	(3 R) → 9:20 S F → 9:20 F		
女子シングルス D 級		1 R → 8:30 S F → 10:10 F			
女子ダブルス A 級					1 R → 8:30 2 R → 10:10 3 R → 11:50 (S F)
女子ダブルス B C D 級					1 R → 8:30 2 R → 10:10 3 R → 11:50 (S F)

	3月31日	4月7日	4月14日	4月18日	4月21日
男子 35才 シングルス G 級					
男子 35才 シングルス H 級					
男子 35才 ダブルス					
男子 45才 シングルス	1 R → 8:30 2 R → 10:10 S F → 11:50 (F)				
男子 45才 ダブルス					
男子 55才 シングルス	リーグ戦 9:20 全員集合				
男子 60才 シングルス				リーグ戦 10:50 全員集合	
男子 65才 シングルス					
MIX I 級			1 R → 8:30 2 R → 10:10 S F → 11:50 (F)		
MIX J 級			1 R → 8:30 S F → 10:10 F		

	4月29日	4月30日	5月1日	5月6日	5月19日
男子シングルス A 級					
男子シングルス B 級	(F) → 10:10				
男子シングルス CD 級					
男子ダブルス A 級	S F → 8:30 F				
男子ダブルス B 級	(S F) → 9:20 F → 10:10				
男子ダブルス C 級	(F) → 9:20				
女子シングルス A 級					
女子シングルス BC 級					
女子シングルス D 級					
女子ダブルス A 級	(S F) → 8:30 F → 10:10				
女子ダブルス BCD 級	(S F) → 8:30 F → 10:10				

	4月29日	4月30日	5月1日	5月6日	5月19日
男子 35才 シングルス G 級		1 R → 8:30 2 R → 8:30 3 R → 10:10 S F → 11:50 (F)			(F) → 8:30
男子 35才 シングルス H 級		1 R → 9:20 2 R → 11:00 S F → 12:40 (F)			(F) → 8:30
男子 35才 ダブルス				1 R → 8:30 2 R → 8:30 S F → 10:10 F	
男子 45才 シングルス					(F) → 8:30
男子 45才 ダブルス				1 R → 8:30 2 R → 8:30 S F → 10:10 F	
男子 55才 シングルス					
男子 60才 シングルス					
男子 65才 シングルス			リーグ戦 10:50 全員集合		
MIX I 級	(F) → 8:30				
MIX J 級					